

## 森林インストラクターの森 活動報告

- <活動日時> 2023年12月10日(日) 9:30~12:00  
< 天 気 > 晴れ  
< 参加者 > 池田、近江、沖本、田崎、辰尾、星野、毛利、横山、芳野  
< 報告者 > 池田



- <活動内容> 間伐、枝打ち、丸太運び研修 講師：横山
- ・丸太運び：沖本さんが研修用にヒノキをチェーンソーで伐採し、その木を適度の長さで伐り、輪にしたロープを結び数名で持ち上げて運ぶ方法を学んだ。
  - ・ヒノキの枝打ち：枝打ちは枯れ枝やある高さまでの生枝を枝の付け根付近から除去する作業。無節の良材育成が主目的となるが、暗い林内に光が差し込み明るくなる効果も期待できる。  
「伸縮式枝打ちのこぎり」、「梯子の安全な使い方」、「ぶり縄」など枝打ち作業に関する技術を体験しながら学んだ。

- <特記事項> 今日は温かく穏やかな小春日和。作業するには最高の天気だが、この時期あまり暖かいのも温暖化の影響かと少し心配になる。落葉樹の多くは未だ葉を落とさずにいる。3月に萩ヶ丘小学校の児童が植えたクヌギの幼木を見たがしっかり根付き立派な葉を付けていた。その木の周りにはシカの糞がゴロゴロ、以前芳野さんが中心となりサプリガードで保護しておいたためシカの食害を免れていた。

今年最後の活動は有意義な研修で締めくくり。安全に注意しながら皆で楽しく実施できた。来年は広場がデッキに次ぐ2番目の拠点として完成する。ヒノキ林の間伐、周回路の整備、植生の調査など引き続きやることは多いが、これからも『安全で楽しく』をモットーにゆっくり森づくりを進めて行きたい。



ロープを使った3人による丸太運び



梯子、伸縮式枝打ちのこぎりによる枝打ち